

地域課題・目指す将来像

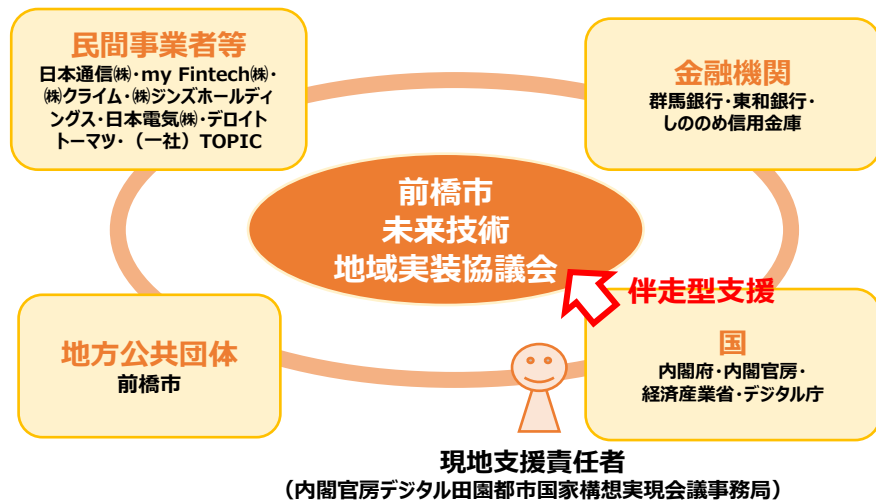
地域
課題

- 市民一人一人にパーソナライズされたサービスを展開していくために必要な安全で公的な裏付けがあり、かつ利便性の高いデジタルIDが存在しない
- キャッシュレス化の推進に伴い地域の購買・決済・与信情報といった金融情報が決済事業を行う大企業に集約し、消費者の購買履歴の地域外への流出を端として、地域経済の衰退につながっている

将来像

- デジタルとリアルを繋ぐ共通IDとしての「めぶくID」を構築し、めぶくIDを軸として交通・医療等のサービスを提供し、めぶくIDを通じて蓄積された各種データを活用することにより、提供するサービスの高度化及び個別最適化を目指す
- 金融分野においては、地域内で蓄積された購買・決済・与信等の金融データを基に、地域内における共助・公助の考えに則り、地域企業の与信獲得をスムーズに進め、再投資・融資につなげることで、地域経済の活性化を目指す

推進体制

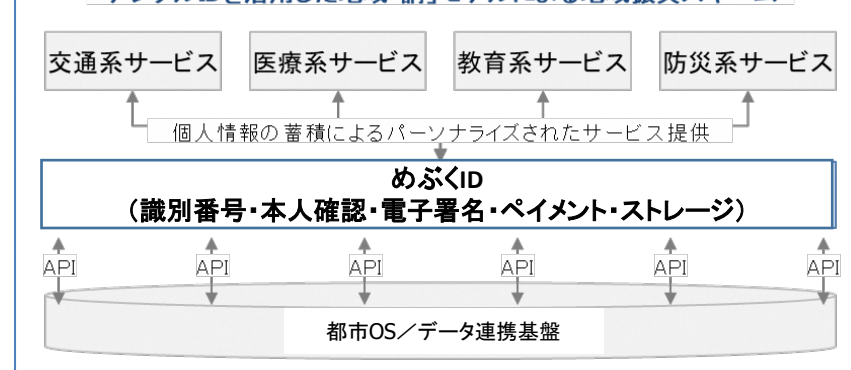


課題解決に向けた取組

「めぶくID」構築事業、まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業

- 「めぶくID」構築事業（識別番号・本人確認・電子署名・ストレージ）
 - ・ プライバシーを十分に確保し個人情報を取り扱うことができる堅牢なID/認証の仕組みを構築
 - ✓ 本人確認に必要な管理用の識別番号形態の検討・実装
 - ✓ デジタル空間上での本人確認の手法に関する機能の実装
 - ✓ デジタル空間上での本人意思の確認（署名）機能の実装
- まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業（ペイメント・地域内決済機能の実装）
 - ・ めぶくIDを活用した共助・公助に基づく地域金融を活性化させるためのDX基盤の整備
 - ✓ めぶくIDを基軸としたサービス組成・展開、金融消費データの蓄積
 - ✓ 金融消費データを活用する形での新たな与信の獲得、獲得した与信に基づく地域での再投資の促進

デジタルIDを活用した地域「講」モデルによる地域振興スキーム

2022年度の
主な取組

- 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（Type3）事業のひとつとして、共通デジタルID「めぶくID（まえばしIDを改称）」を構築
- めぶくIDを活用したモデル的なサービス（教育分野・福祉分野・医療分野等）を構築